

重要文化財指定記念特別展

ひやくそうまきえくすりたんす

飯塚桃葉 百草蒔絵薬箆筥と



江戸博物学と工芸の融合

Special Exhibition Commemorating Designation as an Important Cultural Property

The Medicine Chest with Herb Design by Izuka Tōyō I

根津美術館が所蔵する阿波徳島藩主・蜂須賀家伝来の「百草蒔絵薬箆筥」。本展示会はこの薬箆筥が主役です。銘から、明和8年（1771）11月に徳島藩のお抱え蒔絵師である飯塚桃葉（初代・？～1790）が制作したことがわかっています。器表と内部の抽斗前面は寄裂風の文様が鮮やかに施され、エキゾチックで繊細な金具が要所に付された、大変豪華な作品です。そして本作の最大の特徴は、薬箆筥にふさわしく蓋裏に100種の草や昆虫がその名称と共に極めて精緻な研出蒔絵で表され、かつ充実した内容品をも備えていることにあります。蒔絵史や薬学史など様々な観点から貴重な作例であることにより、本年、新たに国の重要文化財に指定されました。

いったいこの薬箆筥は何のために制作されたのでしょうか。従来、桃葉を召し抱えた10代藩主・蜂須賀重喜の用に供するためと考えられてきましたが、当時の蜂須賀家や博物図譜の動向を注視してみると、蜂須賀家と政治的に重要な関係にあった讃岐高松藩主・松平家への贈答用として制作された可能性が浮上します。

本展示会は、「百草蒔絵薬箆筥」の制作背景を18世紀後半の博物学と美術の様相の中を探るとともに、作者である飯塚桃葉の代表作をまとめて取り上げる初めての機会です。

2024年 11月2日(土)～12月8日(日) 日時指定予約制

根津美術館 NEZU MUSEUM <https://www.nezu-muse.or.jp>

根津美術館
NEZU MUSEUM



1. 飯塚桃葉とは何者か

飯塚桃葉は^{いんろう まき え し}印籠蒔絵師として知られた名工で、宝暦14年（1764）に徳島藩主・蜂須賀重喜に召し抱えられた。多彩な蒔絵技術で黄金に輝く本作は蜂須賀家伝来で、^{しゃし}奢侈に流れた重喜の嗜好を色濃く反映する。
後期 [11/26 (火) ~ 12/8 (日)] 展示



^{う じ が わ ほ た る ま き え り ょ う し ぼ こ す ず り ぼ こ}
宇治川蛭蒔絵料紙箱・硯箱
飯塚桃葉（初代）作
1 具 木胎漆塗
江戸時代 安永4年（1775）
国（皇居三の丸尚蔵館収蔵）

室町時代の名工・大坪道禪作とされる^{くらぼね}鞍橋に、蜂須賀重喜の命で桃葉が蒔絵を仕直した作品。立体感あふれる蒔絵で、阿波鳴門の渦潮の奇観が見事に表される。



徳島県指定文化財
^{は と う ま き え く ら}
波濤蒔絵鞍
飯塚桃葉（初代）作
1 背 木胎漆塗
江戸時代 天明元年（1781）頃
個人蔵

飯塚桃葉（初代）の代表作、集結

- ・徳島県指定文化財 ^{は と う ま き え あ ぶ み} 波濤蒔絵鏡 江戸時代 天明元年（1781）頃 徳島市立徳島城博物館蔵
- ・^{そう きゅうこう} 箏 銘九江 江戸時代 天明2年（1782） 徳島県立博物館蔵
- ・^{れん ちゅうりんりゅうまきえ ず し} 蓮池雲龍蒔絵厨子 江戸時代 18世紀 妙心寺天授院蔵
- ・^{しおのやままきえ ほそ た ちこしらえ} 塩山蒔絵細太刀拵 江戸時代 18世紀 東京国立博物館蔵
- ・^{うんりゅうまきえふえつつ} 雲龍蒔絵笛筒 江戸時代 18世紀 東京国立博物館蔵
- ・^{ぎおんまもりもんほうらいまきえ はい} 祇園守紋蓬萊蒔絵盃 江戸時代 18世紀 立花家史料館蔵
- ・^{うさぎまきえいんろう くもかすみおうちからしまきえいんろう ちどりまきえいんろう} 兎蒔絵印籠、雲霞桜花散蒔絵印籠、千鳥蒔絵印籠 江戸時代 18世紀 長岡市立科学博物館蔵
- ・^{ごかくまきえいんろう} 五岳蒔絵印籠 江戸時代 18世紀 永青文庫蔵

2. 「百草蒔絵薬筆筒」のすべて

筆筒全面に施された研出蒔絵はもちろん、金工にも当時最高の技術が用いられ贅を尽くした大名道具である本作には、薬種そのものは遺っていないものの、美しい銀の合子^{ごうす}をはじめ数多くの内容品も収められる。本展ではその全容を披露する。



重要文化財 ^{ひゃくそうまきえくすりたんす}
百草蒔絵薬筆筒および内容品
飯塚桃葉（初代）作
1 具 木胎漆塗ほか
江戸時代 明和8年（1771） 根津美術館蔵



（蓋裏 部分拡大）

<蓋裏にご注目>

蓋裏の薬用の草虫に付された名称100種類を分析してみると、モチーフの選定にあたっては、本草家など専門家の関与が想定できることが判明した。

<内容品も重要文化財>

^{ぎんせいけ さん ぎんせいごうす から す せいやくびん しんきゅうどうぐ やくたい}
銀製卦算、銀製合子、硝子製薬瓶、鍼灸道具、薬袋などが入る薬筆筒には目録が附属しており、薬袋や合子に何が収められていたかがわかる。それによれば、漢方だけでなく蘭方の薬も備わっていたようだ。

3. 「百草蒔絵薬筆笥」の制作背景



しゅうほうが ぶ
衆芳画譜 薬草第二
1帖 紙本着色
江戸時代 18世紀
高松松平家歴史資料（香川県立ミュージアム保管）



ぞうほ ぼくこう い じ たきのぶひこ
増補穆公遺事 瀧信彦著
1冊 紙本墨書
江戸時代 文政3年（1820）
瀬戸内海歴史民俗資料館蔵

博物大名として有名な高松藩5代藩主・松平頼恭（穆公）の命により、藩に仕えた平賀源内も関わり制作されたと伝わる博物図譜13帖の内のひとつ。対象の特徴を精密に写した彩色の美しい植物図譜は全部で7帖あり、モチーフや表現において「百草蒔絵薬筆笥」と密接な関わりがうかがえる。

[会期中ページ替えがあります]



ぶつるいひんしつ
物類品隲
ひらがげんない そうしせき
平賀源内著・宋紫石画
6冊 紙本墨摺
江戸時代 宝暦13年（1763）
大東急記念文庫蔵

名君の誉れ高い頼恭の事績を知ることができる貴重な史料。明和8年（1771）に還暦を迎えた頼恭をめぐる記述から、藩をあげて祝われたことが推察される。その賀寿に、つながりの深い蜂須賀家が薬筆笥を贈答品として詠えたのではなかろうか。

平賀源内による博物書。師・田村藍水と開催した薬品会（物産会）の出品物から精選した360品目を分類し解説を付す。高松藩を離れた後の著作だが、出版には頼恭の支援があり、本草学を通した2人の親交がうかがえる。

4. 博物図譜の広がり



きんしゅうそう
錦繡叢
1帖 紙本着色
江戸時代 18世紀
永青文庫蔵

熊本藩6代藩主・細川重賢の治世に成立した植物図譜のひとつ。高松松平家の図譜と同じ図像も含まれ、博物大名同士の貸し借りで転写された様子うかがえる。こうした博物図譜の広がりの中に、「百草蒔絵薬筆笥」の蓋裏の図像も位置づけることができよう。

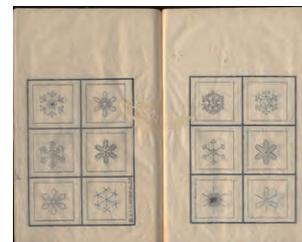
[会期中ページ替えがあります]

5. 自然を写す蒔絵



せつ か まきえ いんろう
雪華蒔絵印籠
ほらようゆうざい
原羊遊斎作
1合 木胎漆塗
江戸時代 19世紀
永青文庫蔵

博物学の隆盛を背景に生まれた作品。下総古河藩主・土井利位は、20年にわたり雪の結晶を観察した成果を『雪華図説』として刊行、その図を藩に仕えた原羊遊斎が蒔絵作品に昇華した。利位はそれを将軍家や大名家に贈ったという。



せつ か ず せつ ど いとしつら
雪華図説 土井利位著
一冊 紙本墨摺
江戸時代 天保3年（1832）
古河歴史博物館蔵

伊勢長島藩5代藩主・増山雪斎（正賢）による「虫豸帖」に代表されるように、江戸時代後期には様々な虫譜がつくられた。そうした背景のなかで制作された、蒔絵と螺鈿を効果的に使い、漆工品ならではの真に迫る表現を楽しめる作例。



ちやうとんぼまきえ ら でんりょうしほこ すずりばこ
蝶蜻蛉蒔絵螺鈿料紙箱・硯箱
ながのおうき
長野横笛作
1具 木胎漆塗
江戸時代 19世紀
国（文化庁保管）

料紙箱：前期 [11/2（土）～11/24（日）] 展示
硯箱：後期 [11/26（火）～12/8（日）] 展示

展示室3 仏教美術の魅力—鎌倉時代初期の仏像—

鎌倉時代初期の仏像は、政権を握った武家の美意識を反映した、慶派に代表される写実的で力感溢れる作風が特徴です。このたびは、慶派仏師・定慶らの木彫仏3件をご覧ください。



もと興福寺に伝わった、運慶の兄弟弟子・定慶による量感溢れる帝釈天像。頭部はほぼ後補だが、銘文により制作年代が確実な基準作として重要である。

だいしやくてんりゅうぞう じょうけい
帝釈天立像 定慶作
1 軀 木造彩色
日本・鎌倉時代 建仁元年（1201）
根津美術館蔵

展示室5 花と鳥たちの楽園

花や鳥は、人間にとって最も親しみ深い画題の一つで、古くは土器や青銅器などにも表されています。様々な画風で描かれた、中国と日本の花鳥画をお楽しみください。



秋の野を歩む鶉を描いた、南宋の院体花鳥画を代表する屈指の名品。その迫真の描写は実在感に富む。足利將軍家コレクションの一つとして伝わった。

国宝
うずらず あり あんちゆう
鶉図 伝 李安忠 筆
1 幅 絹本着色
中国・南宋時代 12～13 世紀
根津美術館蔵

展示室6 炉開きの茶会

11月、茶室では冬を迎えるために炉を開き、席中を一新します。その最初の茶会を炉開きと称して、格式高い茶道具を取り合せます。



炭道具とは、釜の湯を沸かすため、炉中に炭を継ぎ足す時に用いる道具のこと。炉開きの茶会では、主役とも言える道具である。

すみどうぐ ぐ いっしき
炭道具一式
ご すあかえ なかまるこうごう しょうしゅう
・呉州赤絵中丸香合 漳州窯
中国・明時代 17 世紀
かわりつるはぼうき
・替鶴羽箆 日本・江戸時代 17 世紀 ほか
すべて根津美術館蔵

関連プログラム

- 講演会
(事前申込制) ・「ここがすごい！飯塚桃葉のわざ」
日時 11月9日(土) 13時30分～15時
講師 室瀬和美氏(重要無形文化財「蒔絵」保持者)
- ・「蜂須賀家お殿様のおくすり手帳—百草蒔絵薬筆笥の謎」
日時 11月17日(日) 13時30分～15時
講師 高橋京子氏
(大阪大学総合学術博物館招へい教授、薬学博士)

- スライド
レクチャー
(事前申込制) 日時 11月8日(金)、11月29日(金)
いずれも午前11時30分から45分間
講師 永田智世(当館主任学芸員)
- 担当学芸員が展覧会の見どころをスライドを用いて解説
します。内容は2回とも同じです。
※会場はいずれも当館講堂です。
※追って当館ウェブサイトです受付を開始します。
※先着順で定員になり次第締め切らせていただきます。
※いずれも参加は無料ですが、美術館入館料をお支払いください。

- 特別催事
(事前申込制・
有料) すじょうり けいせいあわのなると じゅんれうた
素浄瑠璃「傾城阿波鳴門 順礼歌の段」
徳島藩のお家騒動を描いた物語「傾城阿波鳴門」より順礼
歌の段を素浄瑠璃で上演いたします。「百草蒔絵薬筆笥」の
制作時期に近い、明和5年(1768)に大坂竹本座で初演さ
れた本作を、今を時めく演者によりお楽しみください。
- 日時 11月30日(土) 15時～16時
出演 豊竹呂勢太夫(浄瑠璃)
鶴澤藤蔵(三味線)
会場 根津美術館講堂
- ※開催や参加受付の詳細が決まり次第、当館ウェブサイトにて
お知らせします。

開催概要

- 展覧会名 重要文化財指定記念特別展
「百草蒔絵薬筆笥と飯塚桃葉」
- 主催 根津美術館
- 開催期間 2024年11月2日(土)～12月8日(日)
- 開館時間 午前10時～午後5時(入館は閉館30分前まで)
- 休館日 毎週月曜日、11月5日(火)。
ただし、11月4日(月・振休)は開館。
- 入館料 オンライン日時指定予約
一般 1500円(1300円)
学生 1200円(1000円)
・()内は障害者手帳提示者及び同伴者1名の料金。
中学生以下は無料。
・当日券(一般1600円、学生1300円)も販売しております。
(ご予約の方を優先してご案内いたします。当日券の方は
お待ちいただくことがあります。混雑状況によっては
当日券を販売しないことがあります。)
・2024年10月29日[火]より当館ウェブサイトで
予約を受け付けます。
・ご予約は1グループ10名までとさせていただきます。
- アクセス 地下鉄銀座線・半蔵門線・千代田線(表参道)駅下車
A5出口(階段)より徒歩8分、
B4出口(階段とエスカレーター)より徒歩10分、
B3出口(エレベーターまたはエスカレーター)より徒歩10分
- 住所 〒107-0062 東京都港区南青山6-5-1
お問合せ Tel. 03-3400-2536(代表)
website <https://www.nezu-muse.or.jp>

「秋の三館 美をめぐる」キャンペーン

三井記念美術館、五島美術館と当館では、以下の展覧会を対象に三館合同キャンペーンを行います。

- | | |
|---------|--|
| 三井記念美術館 | 2024年9月14日(土)～11月12日(火) 特別展「文明の十字路 パーミヤン大仏の太陽神と弥勒信仰
—ガンダーラから日本へ—」 |
| 五島美術館 | 2024年10月22日(火)～12月1日(日) 特別展「古裂賞玩—舶来染織がつむぐ物語—」 |
| 根津美術館 | 2024年11月2日(土)～12月8日(日) 重要文化財指定記念特別展「百草蒔絵薬筆笥と飯塚桃葉」 |

※上記展覧会の観覧済み入館券を、他2館の上記展覧会入館時にご提示いただくと、入館料が100円引きになります。
また、上記展覧会すべての観覧済み入館券のご提示で、3館いずれか1館の次回展に無料でご入館いただけます。

次回展 企画展「古筆切—わかちあう名筆の美—」

2024年12月21日(土)～2025年2月9日(日) [12/27(金)～1/6(月)は年末年始休館]

貴重な古筆を切断分離することで、より多くの人々が鑑賞できるようになった古筆切。個々の魅力に富む名筆の美しさをお楽しみください。

左：石山切(貫之集下断簡) 藤原定信筆
日本・平安時代 12世紀
右：落葉色紙 伝西行筆
日本・鎌倉時代 13世紀
いずれも根津美術館蔵



同時開催：
展示室2「一行の書」
展示室5「古代中国鏡のミクロコスモス」
展示室6「初月の茶会」

*本資料掲載の内容は、予告なく変更になる場合がございます。最新の情報は当館広報課へお問い合わせください。(2024.8.)